

議事要旨（第3分科会・第1回）

日時 2025年11月10日（月）9:30～11:30

場所 Zoom

参加者

【分科会委員】池田、岩井、内布、加藤、小山、坂元、佐々木、鈴木、田門、藤井、藤原精吾

【オブザーバー】松原

【日弁連法務研究財団】採澤（事務局長）、関口（事務局次長）

<議事概要>

1. 委員長の決定

互選により坂元委員を第3分科会の委員長とする。

2. 議事要旨

- ・差別・偏見を根絶するための新しい立法体系などの仕組みづくり、中でも、国内人権機関の設立について提言をすべきである。
- ・分離教育により偏見差別が根付いてしまっている。教育実践、教育行政の対応について調査すべきである。
- ・多くの精神障害者は優生手術の被害に遭い、現在もなお同様の問題が精神科医療分野で生じている。人権課題として取り上げ調査検証すべきである。
- ・1996年の母体保護法への改正時の議論状況について調査すべきである。
- ・優生政策に対する各国の対応、障害者権利委員会等の国際機関の各国に対する総括所見等を分析すべきである。
- ・各学会が調査検証した報告書を参照すべきである。まだ調査検証を行っていない学会に対する照会もすべきである。

3. 今後のスケジュール

- ・各委員において、第3分科会で調査、検証、検討が必要と考える項目、それに対応する調査手法（照会先を含む）をリストアップし、11月28日（金）までに共有する。
- ・次回会議：12月15日（月）15時～17時 Zoom
- ・遅くとも年度内には、収集が必要な資料の抽出、収集先（照会先）の選定を行い、（他の分科会との調整の上で）開示請求や照会を行う。

以上